

つ 津 み ら い

いしかわ よしのり
石川 禎紀

録画映像



問 幼保小における学びの連続性の重要性について問う

幼児教育と小学校教育は「遊びを通じた学び」と「教科学習」のようにカリキュラムの形態が異なっているが、その中で両者の教育の目的・一貫性を持つことが重要である。

国において令和4年4月に各自治体と学校・園が連携して取り組む「幼保小の架け橋プログラム」が示されているが、津市における取り組みはどのようなものか。

答 本年度、津市の架け橋プログラムの作成に着手する

本年度、幼小接続のさらなる充実を目指して、津市架け橋プログラムの作成に着手し、幼児教育と小学校教育に携わる職員等が日々の実践を話し合うプロジェクトを立ち上げ、保護者と連携して各校・園のカリキュラムの作成や幼小の接続期の教育方法の充実・改善を図る。幼児教育では、非認知能力や基本的な生活習慣等の基礎を培うための遊びや環境構成の工夫に力を入れ、また、小学校教育では、幼児期に育まれた基礎的な力が各教科の学習に円滑に接続されるようカリキュラムを作成し、自分で課題や問題について解決する力や、さらなる学習意欲の向上につなげていく。

その他の質疑・質問

- 榊原地区活性化計画に基づく農山漁村振興交付金事業について
- 保育施設・学校等給食物価高騰対策支援事業について
- G I G A スクール構想・タブレットの活用について
- 学校運営協議会について

など

▶ 榊原地区をはじめもっと津市全体の魅力発信を



榊原 バリアフリー観光農園予定地

つ し そ う せい
津市創成

なかだ こうへい
中田 耕平

録画映像



問 津市海浜公園の整備計画を問う

サッカーと陸上競技は競技人口も愛好者も多く、代表的なスポーツである。その2つのスポーツができる施設が整備されていない現状はおかしいのではないかと。津市ではサオリーナができて屋内スポーツの充実が図られ、津市民テニスコートもできた。今こそ、サッカーと陸上競技を両方兼ねる津市海浜公園を整備すべきではないかと。津市海浜公園の現状と今後の整備計画を問う。

答 (仮称) 津市スポーツ施設整備計画の中で整備の方向性を示す

津市海浜公園内陸上競技場のインフィールド部分については、サッカーの利用が全体の8割を占めており、大会も開催されている。陸上競技については、現状、公認陸上競技場ではないので、関係団体等からも改修の要望が出ている。現在、津市スポーツ推進審議会で議論していただいております。その結果も踏まえて、令和4年度中に策定予定の(仮称)津市スポーツ施設整備計画の中で整備の方向性を示すとともに、サッカーや陸上競技の関係団体の皆さまからもご意見をいただきながら、具体的な整備内容について決定していきたいと考えています。

その他の質疑・質問

- 容器包装プラスチックごみの分別について
- 保育園、幼稚園、小中学校のマスクの使用について
- 通学範囲外の中学校への通学の可否について
- 障がいを持つ子どもへの津市の対応について
- つうぽっぽについて
- 相談窓口について

など

▶ 供用開始から30年以上が経過し老朽化が進む陸上競技設備

